



地域にお住いの皆様へ

わたりゆうすいぐん
「渡里湧水群を活かす会」の設立と現地視察について（ご案内）

渡里台地には「台渡里官衙遺跡群」という国指定遺跡を始め、縄文遺跡、一盛長者屋敷跡等歴史的遺産が数多くあります。

一方、この台地の辺縁には貴重な緑地が分布しており、「長者山風致地区」として指定を受けており、緑地の保存も図られているところです。

この台地の崖下(田野川沿い)にはいくつもの湧水箇所があり、今も豊富な清水が湧き出ております。以前は農業用水や生活用水等様々に利用されており、残されている箱樋工事再興記念碑からもそのことがうかがえます。

しかし、国道123号線の直線化とそれに伴う田野川の橋梁設置工事以後は人の立ち入りが少なくなり、田野川岸の竹が繁茂し一帯は荒廃してしまいました。それでも湧水は以前と変わらず湧き出しており、あぜ道や旧水路の面影は残っており、手を加えれば貴重な自然を活用できるものと確信いたします。この絶えることのない湧水は現在課題となっている災害時等の有用な水資源ともなりうる貴重な財産でもあります。

そこで、この豊かな自然を次代を担う地域の子ども達のためにも残してやりたいと、標記の会を立ち上げ下記目標を設定いたしました。目標実現のためには多方面のご協力が不可欠であります。まずは地元が中心となって行動を起していかなければならないと思います。

つきましては別紙のとおり現地視察会を計画いたしました。趣旨をご理解いただきましてご協力、ご参加をお願い申し上げます。

平成26年7月

渡里湧水群を活かす会

会長	篠原 光	幹事	小泉 康二
副会長	小室 潤一	幹事	篠原 誠
幹事	大槻 勢次	事務局長	八木岡正芳
後援者	大槻 義光（渡里地区住民の会会長）		

<活動目標>

- 長者山風致地区内の湧水箇所や旧水路、あぜ道、平場、旧国道跡等を整備し、台地上の歴史的遺産（市の構想として国指定遺跡は歴史公園として整備）と一体化して歴史的、自然的環境づくりに努める。
- 上記の達成に向けて産・官・学・民の協力を仰ぎ、渡里湧水群を活用した環境再生を実践するとともに普及啓発活動に努める。

<当面の活動>

- 山沿いのあぜ道を整備（竹・雑草の伐採等）し、道沿いの旧水路に手を加え、その水路に数ある湧水を流下させ、田野川、那珂川の清流を仰ぎながら、泉や小川のわきを散歩できる「水と緑の遊歩道」を作る。

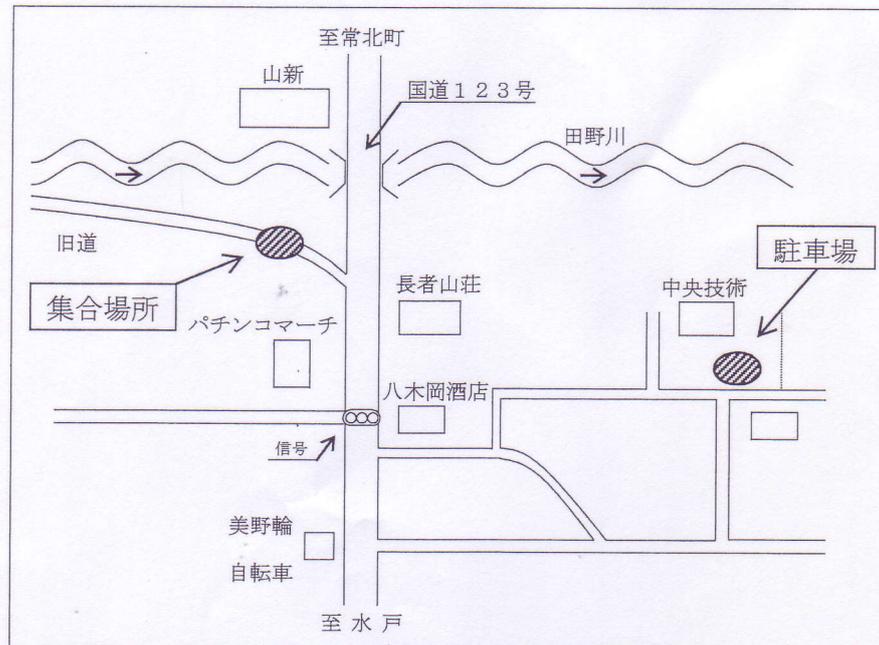
別紙

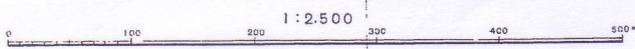
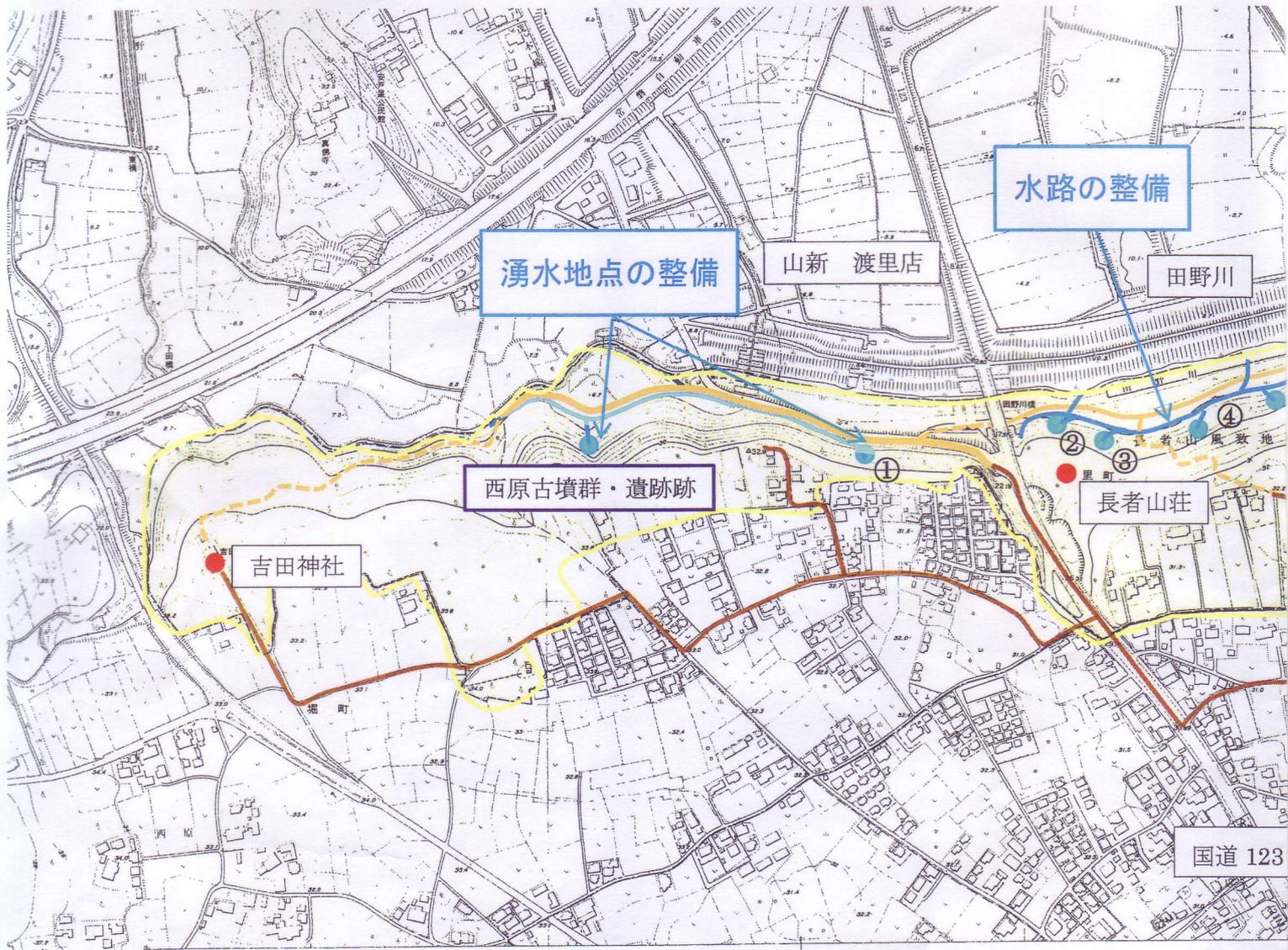
渡里湧水群 現地視察のご案内

1. 日時 平成26年9月28日(日) 小雨決行
午前 8:00~11:00 (予定)
2. 集合場所 金沢坂旧国道敷 (山新に向かい田野川橋手前の左側)
3. 駐車場 現地に駐車場はありません。車の方は中央技術(株)の駐車場をご利用ください。(集合場所、駐車場につきましては下記案内図をご参照下さい。)
4. 行程 約800m (その間に約7か所の湧水が湧き出ております。)
5. 服装 履物は長靴、服装は長袖、長ズボンをおすすめします。
6. その他
 - ・ 当日は湧水群を視察するのが目的ですが、現地は草、竹などで荒廃しております。多少の伐採等をお願いしたいので鎌やノコギリ等をご持参いただければありがたいです。
 - ・ 今後、活動を重ねていく中で会組織の充実をはかってまいります。

※ 問合せ先 事務局：八木岡正芳 029-226-5656 (中央技術)
携帯090-3008-9363

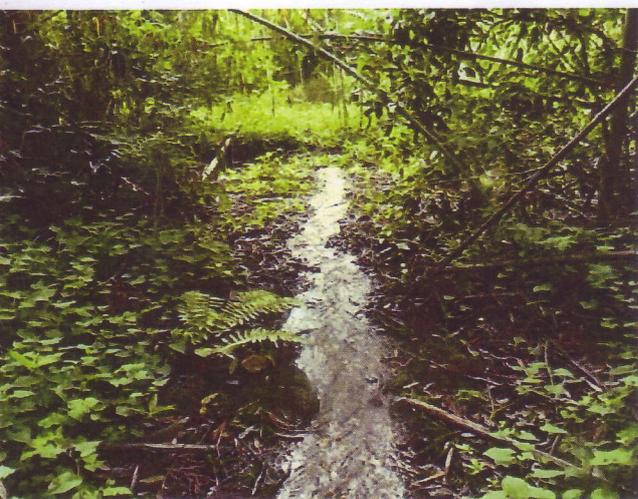
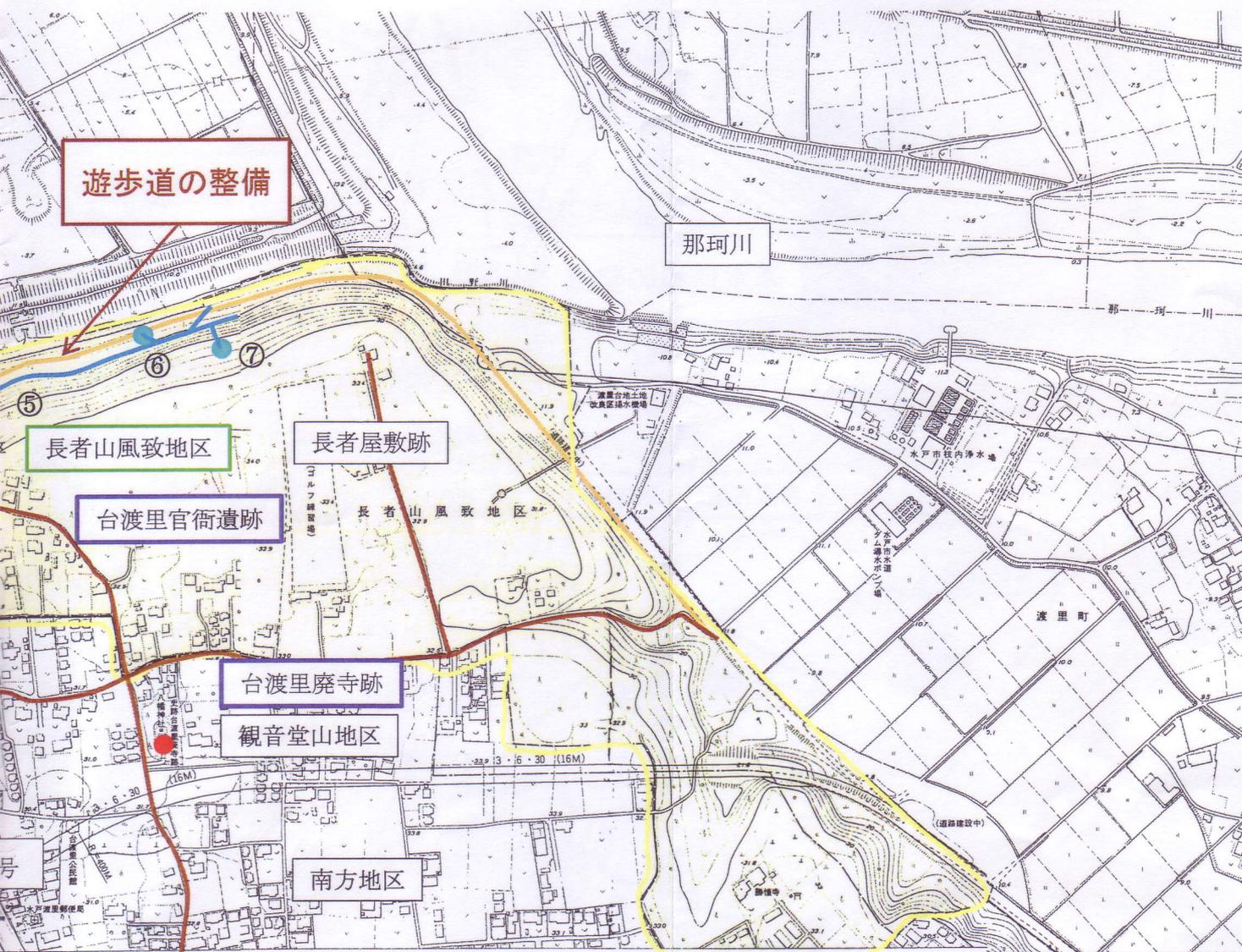
案内図





ですい
出水と呼ばれる湧水の脇に建てられている
「箱樋工事再興記念碑」(大正7年建)

湧水



現況



現況の荒れた道路と旧用水路跡